

【多発性骨髄腫】

レジメン名称 : Isa+d(2サイクル以降)

インターバル日数 28 日

催吐性リスク : 軽度

基準日 day1

使用する抗がん剤:

Rp	手技	薬剤名称	標準値	上限値	投与	ルート	組織侵襲性
4	点滴静注	サークリサ点滴静注	20mg/kg	-	day1,15	フィルター付き	非炎症性
2	内服	レナデックス錠4mg	20mg/body	-	day1,2,8,9 15,16,22,23	-	-

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day8	day9	day15	day16	day22	day23
1	点滴静注	生理食塩液 100ml ルートキープ用 点滴静注 * 点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン	100ml	投与順1				投与順1			
2	点滴静注	ポララミン注5mg ファモチジン静注20mg 生理食塩液 50ml 点滴静注 * 点滴時間15分 投与経路:末梢ルートメイン側管	1A 1A 50ml	投与順2				投与順2			
3	点滴静注	生理食塩液 50ml * 点滴時間15分 投与経路:末梢ルートメイン側管	50ml	投与順3				投与順3			
4	点滴静注	サークリサ点滴静注 生理食塩液 250ml 計250mlになるように調製 投与経路:末梢ルートメイン側管	20mg/kg 計250ml	投与順4				投与順4			
5	点滴静注	生理食塩液 50ml * 点滴時間5分 投与経路:末梢ルートメイン側管	50ml	投与順5				投与順5			

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day8	day9	day15	day16	day22	day23
1	内服	アセトアミノフェン錠500mg	1000mg	1000mg				1000mg			
2	内服	レナデックス錠4mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg

★ サークリサの投与量が2000mgを超える場合(体重100kg超)は、希釈液の濃度が8mg/mlを超えない範囲で2バックに分けて調製

★ アセトアミノフェン、レナデックスはサークリサの投与1時間~15分前に投与

★ 75歳以上ではレナデックスを10mgに減量

★ 輸血時の間接クームス試験に影響あり

★ サークリサ投与速度	<初回>	175mg/h 1時間	<2回目以降>	175mg/h 1時間
		225mg/h 30分		275mg/h 30分
		275mg/h 30分		375mg/h 30分
		325mg/h 30分		以後400mg/h
		375mg/h 30分		
		以後400mg/h		